報道関係者各位

Press Release

2022年10月19日

Storyteller tells the Story
物語コーポレーション

～３年ぶりに対面式のリアルで実施～
「内定証書授与式」を開催！

株式会社物語コーポレーション（本社：愛知県豊橋市、代表取締役社長：加藤 央之）は、来春2023年４月入社予定の新卒内定者を対象に、「内定証書授与式」を2022年10月１日に開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に最大限の配慮をした上で、３年ぶりに対面式のリアルで開催となり、総勢90人（一部オンライン参加）の内定者が参加しました。

新型コロナウイルス感染症拡大抑制の対策として、2020年から会社説明会や就活生向け自社セミナー、面接など一連の採用活動は積極的にオンライン対応を進めてまいりました。「内定証書授与式」も一昨年はオンライン形式で、昨年は会場を全国４カ所に分散し、“４会場をオンラインで繋いだ生中継”と“会場別”の進行のハイブリッド形式で開催。このたびは、2019年以来３年ぶりとなる、内定者全員が一同に会したリアル開催となりました（都合により一部オンラインで参加）。

▲ 90人の内定者一人ひとりに内容の違う「内定証書」を授与

▲「入社までの半年間で、自分はどうなりたいかを改めて考えてほしい」と内定者にエールを送る社長の加藤（上）

▲内定証書授与後の内定者の「決意表明」
自身の夢や目標などの「自分物語」を明言する様子（左下）と、真剣に「決意表明」を聞く内定者の様子（右下）

■「内定証書授与式」の目的と価値

新型コロナウイルス感染症拡大により学生と直接会えないことは、経営理念への共感を重視する「理念型採用」を行う当社にとって大きな障壁となっています。本年度の「内定証書授与式」は、“当社への理解の深化”、“エンゲージメントの強化”、“面接官や同期とリアルに会えていないことによって発生する不安の払拭”を目的に、代表取締役社長の加藤央之の挨拶や各事業部長からの事業説明、事業部別座談会を実施しました。事業部別座談会では、本社ブース２カ所と事業部ブース５カ所を設置。代表取締役社長の加藤、代表取締役専務執行役員の岡田雅道、取締役上級執行役員FC・営業担当の木村公治の３人からなる「経営幹部ブース」、「物語アカデミー（部：社内の教育部門）ブース」、各事業部の事業部長を始め営業幹部や先輩社員からなる「事業部ベース」を内定者が順番に回りました。質問を通じて、お互いの理解と交流を深めました。

▲『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』の事業内容や教育制度について語る事業部長の三宅泰嗣（左）
事業部別座談会では、内定者からの質問が時間目いっぱいまで続いた（右）

■「個を尊重する文化風土」を見える化した「一人ひとり違う内定証書」

「“個“の尊厳を“組織“の尊厳より上位に置く」という思想のもと、当社では”以下同文”を使わない、一人ひとり内容が異なる内定証書を授与します。内定証書の作成は、採用活動で関わった人財開発部の部員（採用担当者）が内定者を思い浮かべて作成しました。

▶ 一人ひとり内容が異なる「内定証書」

今後は、来年１月末から２月初旬の期間に「2023年度幹部候補生※」の配属先を決定する「キックオフミーティング」の開催を予定しています。当社は、新卒採用目標数150人の“理念共感度の高い人財の採用“に向け、引き続き選考活動と内定者へのフォローアップに注力してまいります。

※ 当社では、新入社員一人ひとりが将来の「幹部候補」として入社した意識を持つこと。また、これまで経験してきたこと全てをキャリアと捉え、新人だからと自分を抑え込まず、入社した時から恐れず明言・行動してほしいという意図から、入社１年目の社員を「新入社員」ではなく、「幹部候補 生」という名称を使用しています。

株式会社物語コーポレーション（東証プライム市場：証券コード：3097）

代表者名 ：代表取締役社長　加藤 央之
事業内容 ：飲食店の経営、運営およびフランチャイズチェーン展開
展開ブランド ：『焼肉きんぐ』『丸源ラーメン』『お好み焼本舗』『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』など
売上高 ：732億円（グループ売上高　1,085億円）2022年6月30日時点
店舗数 ：国内613店舗（直営376店舗、FC237店舗）、海外（中国）19店舗 2022年9月30日時点
ホームページURL ：https://www.monogatari.co.jp/

〈本件に関するお問い合わせ〉

株式会社物語コーポレーション　東京都港区南青山2-4-3
TEL：03-5414-5750　E-mail：press@monogatari.co.jp　広報・IR室：堤